

2021 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 碧
(コード番号 3039 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 金城 智子
問合せ先 常務取締役 又吉 日登志
T E L 098-863-1533
U R L <https://www.heki.co.jp/>

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、2021年6月29日に提出を予定しております2021年9月期中間発行者情報におきまして、2021年5月17日に公表しました2021年9月期中間決算短信に記載しております「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮要請や外食需要の冷え込みの影響を受け、来店客数・売上高ともに大きく減少したことで、2020年9月期におきましては営業損失148,047千円、当中間会計期間におきましては営業損失89,600千円を計上しております。

また、新型コロナウイルス感染症の収束及び外食需要の回復には一定の期間を要するものと考えられることから、営業債務や借入金返済の原資となる売上獲得が見込めず、資金繰り悪化の懸念が生じております。これらにより、当社には継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

しかしながら、当中間会計期間の末日現在において現金及び預金を284,380千円保有しているほか、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に対する備えとして、2021年6月8日に2度目のシンジケートローンの条件変更契約を締結したことにより、十分な手元資金を確保していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、2021年6月29日提出予定の2021年9月期中間発行者情報において「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

当面の資金繰りについての懸念は解消されたものの、当社の収益性においては依然として構造的な課題を抱えている為、今後につきましてはテイクアウトやデリバリーの強化、新メニュー開発への取り組み、店舗スタッフの早期戦力化、コストの見直しを含めた様々な改善策の実施により、早期に課題を解決していくよう努力してまいります。

株主をはじめとする関係者の皆様にはご心配をおかけいたしました。引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

以上